

## ② 瞬間英作文トレーニングの行い方

### サイクル回しによる各パートの完成

練習パートは3部に分かれています。part 1を仕上げた後から part 2に移り、part 2を仕上げた後 part 3に進むというように、必ずパートごとに完成してください。ひとつのパートの完成は、日本語文を即座に滑らかな英文に変える瞬間英作文が、そのパート全体を通してできるようになることが条件です。

これは、科目としての英語で行っていた暗唱とは、まったくスピードが異なります。あなたが手に入れたいのは英語を自由に話す能力ですから、今までのペーパーテスト用のような、のろのろしたペースは忘れてください。英語を自然に話すスピードで、パートの全文で瞬間英作文ができるようにしましょう。

このようなスピード・滑らかさ目的とする場合、最も有効なのがサイクル法です。これはひとつのテキストを1回で覚えこもうとせず、軽めに何度も塗りをするように繰り返し、自然に長期記憶として刷り込んでいく手法です。定期テストや受験科目としての英語では、テストが終わればすぐに忘れてしまう短期記憶や、せいぜい中期記憶で間に合っていたかもしれません。しかし、自然に英語を使いこなすためには長期記憶が必要になってきます。

例えば、自分や家族、友人の名前などは長期記憶として保存されていて半永久的に忘れることはありません。これらと同じように、自由に使いこなせる言語の文法・句型構造、語彙は長期記憶されているものであり、車の運転やスポーツでの動きなどのように瞬間的な反応となって現れます。このような記憶や動きは1回限りの意識的な暗記ではなく、際限ない繰り返しにより、それと知らぬ間に獲

得されたものでしょう。このような自然な刷り込みを行うのに最適なものが、「サイクル回し」です。

「何度も繰り返す」という表現に抵抗を感じ、サイクル回しを敬遠する必要はありません。「何度も」も繰り返すといっても、各サイクルにかかるストレスは、1回でがむしゃらに覚えこもうとする暗記とは比べものにならないくらい軽いものです。また、サイクル数が増すにつれ、どんどん速く簡単になっていきます。

本書の瞬間英作文トレーニングでは、簡単で速く、半永久的な効果のある、いいことづくめのサイクル回しの効果をぜひ味わってみてください。

### サイクル回しでスムーズに学習



# 本書のトレーニングの仕方

文型ごとにトレーニング  
します

[音声は2種類]

基本モード 日本語文▶ポーズ(英文+2.5秒)▶英文

ハードモード 日本語文▶ポーズ(英文+1.5秒)▶英文

🔊) 日本語文 (問題) ……▶ ポーズ ……▶ 英文 (答え)

ここで瞬間英作文!

英文を作り出すための「引き金」として日本語文を使います。考え込まず、スピーディーに英作文します

テキストを見ながらの文字によるトレーニングと併行して、DL 音声を使って耳からのトレーニングを行います。日本語文を聴いてポーズの間に即座に英語にしてください

## 01 this / that

🔊) 1-001

- ① これは良い本です。
- ② この辞書は良い。
- ③ あれは面白い本ですか? — はい、そうです。
- ④ あの本は面白いですか?  
— いいえ、面白くありません。
- ⑤ これは正しくない。
- ⑥ あれは本物の花ではない。
- ⑦ このスープはあまり美味しくない。
- ⑧ これは塩ですか、それとも砂糖ですか? — 砂糖です。
- ⑨ あの女性はフランス人ですか、それともイタリア人ですか?  
— フランス人です。
- ⑩ あの男性は日本人ですか、それとも中国人ですか?  
— 日本人です。

### ワンポイントアドバイス 1~5

1~5 では be 動詞の文が自由になれるようになる練習をします。基本的な文でも、学課としての英語学習のみでは、口頭で英文を作ると実に初歩的なミスをやつと犯してしまうものです。

34

01 this / that

This is a good book.

This dictionary is good.

Is that an interesting book? — Yes, it is.

Is that book interesting?  
— No, it isn't.

This is not right.

That is not a real flower.

This soup is not very tasty.

Is this salt or sugar? — It is sugar.

Is that woman French or Italian?  
— She is French.

Is that man Japanese or Chinese?  
— He is Japanese.



「引き金」の日本語文に対する英文です。理解・納得するだけでなく、「英作文回路」を作るために必ず口に落ちつけます

でも、がっかりしないでください。現状は現状として冷静に受け入れ、今から言語として英語を使うための実践的トレーニングを始めれば良いのですから。始めさえすれば、頭で理解していることは、急速に使えるようになるものです。

35

頭ではよくわかっている文法・文型でも、実際に英文を作ってみるとさまざまなミスをしてしまうもの。学習者がおかしやすい間違いや気をつけるべき点を中心に、簡潔なアドバイスがあります

★本書のトレーニングは、中学レベルの文法・文型を既に理解していることを前提にしています。各文法・文型項目についての細かな解説・説明はありません。

★また日本語文は、英訳しやすいように直訳に近い場合があります。

# 01 this / that

① これは良い本です。

This is a good book.

② この辞書は良い。

This dictionary is good.



③ あれは面白い本ですか？ — はい、そうです。

Is that an interesting book? — Yes, it is.

④ あの本は面白いですか？  
— いえ、面白くありません。

Is that book interesting?  
— No, it isn't.

⑤ これは正しくない。

This is not right.

⑥ あれは本物の花ではない。

That is not a real flower.

⑦ このスープはあまり美味しくない。

This soup is not very tasty.

⑧ これは塩ですか、それとも砂糖ですか？ — 砂糖です。

Is this salt or sugar? — It is sugar.

⑨ あの女性はフランス人ですか、それともイタリア人ですか？  
— フランス人です。

Is that woman French or Italian?  
— She is French.

⑩ あの男性は日本人ですか、それとも中国人ですか？  
— 日本人です。

Is that man Japanese or Chinese?  
— He is Japanese.

## ワンポイントアドバイス

1~5

1~5 では be 動詞の文が自由に作れるようになる練習をします。基本的な文でも、学課としての英語学習のみでは、口頭で英文を作ると実に初歩的なミスを次々と犯してしまうものです。

でも、がっかりしないでください。現状は現状として冷静に受け入れ、今から言語として英語を使うための実践的トレーニングを始めれば良いのですから。始めさえすれば、頭で理解していることは、急速に使えるようになるものです。

## 01 過去形

① 昨日私は疲れていました。

I was tired yesterday.

② そのとき彼女はとても幸福でした。

She was very happy then.

③ 突然ピーターが部屋に入ってきました。

Peter came into [entered] the room suddenly.

④ 君はいつ宿題をしたのですか？

When did you do your homework?

⑤ 私たちは去年アメリカを訪れました。

We visited America last year.

⑥ 彼らは昼食に何を食べましたか？

What did they eat for lunch?

⑦ 彼女はどのように動物園に行きましたか？  
— 電車で行きました。

How did she go to the zoo?  
— She went there by train.

⑧ 公園には子どもたちがたくさんいました。

There were many children in the park.

⑨ 1時間前、君はどこにいたの？ — 自分の部屋にいたよ。

Where were you an hour ago? — I was in my room.

⑩ 彼女たちは僕たちにとっても親切だった。

They were very kind to us.



### ワンポイントアドバイス

#### 1 過去形

Part 1 では時制は現在形だけでしたが、Part 2 以降ではさまざまな時制を扱います。頭では理解していても、実際に適切な時制を使いこなすのは難しいもの。英作文回路のできていない人の英語は、昨日のことを言っているのに I go to Tokyo yesterday. と言ったり、過去から現在までの時間の幅があり現在完了形を使うべき「私は横浜に10年住んでいる」というような文を、I lived in Yokohama for 10 years. と単なる過去形にしたりと、時制が滅茶苦茶

になりがちです。適切な時制を使えるようにしっかり練習しましょう。まずは、過去形から。

過去形では、動詞が過去形になります。一般動詞は、語末が ed になる規則動詞とこの規則に縛られない不規則動詞に分かれます。be 動詞の過去形は was と were です。

## 01 従属節を導く接続詞—1



① もし明日晴れたら、私たちはピクニックに行きます。

If it is sunny tomorrow, we will go on a picnic.

② もし彼が明日来なかったら、僕がその仕事をするよ。

If he doesn't come tomorrow, I will do the work.

③ 英語を覚えたいなら、君はもっと定期的に勉強しなければならない。

If you want to learn English, you have to study more regularly.

④ 病気だったので、彼女は欠席した。

As she was sick, she was absent.

⑤ 雨が降っていたので、彼は1日中家にいた。

He stayed (at) home all day because it was raining [rainy].

⑥ とても疲れていたので、彼女は泳ぎに行かないことにした(決めた)。

As she was very tired, she decided not to go swimming.

⑦ あなたはテレビを見る前に宿題をしなければなりません。

You have to do your homework before you watch television.

⑧ あなたの弟は寝る前にいつも歯を磨きますか？

Does your brother always brush his teeth before he goes to bed?

⑨ 夕食を食べたら皿を洗ってください。

Please wash the dishes after you eat dinner.

⑩ 彼が車を洗った後に雨が降り始めた。

It began to rain after he washed his car.


 ワンポイントアドバイス

## 1~2 従属節を導く接続詞

従属節を導く接続詞は、Part 2 で when が登場しましたが、ここではさらに多くの接続詞を練習します。if, as, because, before, after, while, until,

although (though) と盛りだくさんですので、2項にわたって練習します。条件(もし~なら)のifと時を表す after, before, until に導かれる副詞節では、未来のことでも will を使いませんので注意してください。